



加藤 博徳 議員

取りこわしが予定されている松前町環境プラザ（シルバー人材センター）

公共施設の閉鎖と事業廃止は

問 ①施設の廃止計画は。
②事業廃止と今後は。

答 財政課長

①施設の老朽化のため、今後、廃止や建物の解体予定は、旧宗意原保育所、松前老人憩の家、旧保健センター、旧給食センターだ。旧宗意原保育所及び旧保健センターは、来年度に解体工事を予定している。松前老人憩の家は、西公民館の改修工事が完了後、同所に移転し、現在の老人憩の家は解体工事を行う予定だ。旧給食センターは、利用者に対し、閉鎖後の活用場などについて、説明や協議を行っている。

今後も施設を閉鎖する場合は、これまでどおりその施設の利用者には事前に閉鎖理由の説明を行う。あわせて閉鎖後の活動の場などについての協議を行うことで、利用者が困らないようにしたいと考えている。

答 副町長
②町主体の事業は、事業評価を行い、その結果をもとに方針を決定する。地域主体の事業については、町が関与するものではないと考えている。利用場所がなくなるという点については、基本的に各施設は、空き教室とかは全くなく、あいている施設をその間だけ使っていたらばという認識で町はお貸ししていたと考えている。基本的に自主事業は、町が援助をすることは、考えていない。

平成28年度の国費と県費は

問 国費、県費の額と今後の推移予測は。

答 財政課長

国庫支出金や県支出金は、実施する事業に対し国や県から支出されるもので、歳入額が決定する。平成28年度一般会計の決算において、国費・県費の負担金や補助金など

の歳入額は以下の表の通りである。

国庫支出金や県支出金は、実施する事業に対し国や県から支出されるものだ。

今後の推移は、国庫支出金や県支出金の交付対象事業を実施することで歳入金額が決定する。

国費（国庫支出金）	児童手当給付	3億 3113万 6千円
	障がい者に対する自立支援給付	2億 3991万 2千円
	西古泉筒井線幹線道路整備	1億 9285万 8千円
	その他	6億 3852万 2千円
	合計	14億 242万 8千円
県費（県支出金）	障がい者に対する自立支援給付	1億 1892万円
	国民健康保険財政支援	1億 496万 9千円
	児童手当給付	7313万 9千円
	その他	5億 1732万 8千円
	合計	8億 1435万 6千円

(H28年度一般会計決算より)